

永井 柳太郎氏

我国現在ノ文字教育が単ニ漢字、仮名、ローマ字ナドノ普通文字ノミニ限ラレ、何等速記文字教育ヲ施サザルガタメニ、我が国民ノ有形無形ニ蒙リツツアル損失ハ実ニ甚大ナルモノガアルノデアリマス。

欧米ニオケル速記界ハ既ニ二千年ノ活歴史ヲ有シ、ソノ盛大ナルコト到底我々日本人ノ想像スルコト能ハザル程度ニ達シテ居リマスル今日、ヒトリ我国ノミガ取残サレテ居リマス。

コノ時ニ當リマシテ、カネテ中根速記協会ガ簡易ナル速記文字ヲ以テ、全国的ニ一大普及運動ヲ起シテ着々ソノ実績ヲ挙ゲ、殊ニ今回、劃期的大講演会ヲ開催スルニ至ツタコトハ、邦家ノタメ大ニ慶賀ニ堪ヘナイトコロデアリマシテ、今後我国速記界が益々進歩發達シ、欧米ヲ凌グ偉大ナル速記国ヲ建設センコトヲ衷心ヨリ切望シテ止マナイノデアリマス。茲ニ一言以テ祝辞ト致シマス。 昭和六年五月二十九日 永

井 柳太郎 (雄弁家として知られた代議士、後拓殖大臣)

立看板は八十位立てたと思います。ポスターもたくさんつくってあちこちに張り、ピラもたくさん刷つて、学校の職員や生徒たち総動員で尽力してもらったのでした。お陰で大講堂も満員になる盛況でした。

永井柳太郎氏はその当時、衆議院議員で非常な雄弁家として知られた人でした。文部大臣の祝辞はこの方から文部省の参与官をしておられた工藤鉄男代議士にご紹介していただいてもらうようになったのです。